新潟南高等学校
2019年10月2日

68期江風SSGワークシート　（２年　　組　　番　氏名　　（　　班）

※班長は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（←司会・進行を行う）

◇本時の目標

【ユニットⅡ③】（８月～12月）仮説設定から考察・結論に至るまでの探究活動（or 実験❻～⑯）

	８月28日（水）	リサーチクエスチョンを４つに絞る／or 実験❻
	９月 ４日（水）	リサーチクエスチョンを仮決定する／or 実験❼
	９月18日（水）	複数の仮説を考える／or 実験❽
	９月25日（水）	複数の仮説を考える／or 実験❾
○	*10月 ２日（水）*	*仮説を一つにしぼる／or 実験❿*
	10月23日（水）	仮説の客観的な根拠を考え、調査・研究の計画を考える（その１）／or 実験⓫
	10月30日（水）	仮説の客観的な根拠を考え、調査・研究の計画を考える（その２）／or 実験⓬
	11月 ６日（水）	調査・研究の結果を班の中で共有する／or 実験⓭
	11月20日（水）	調査・研究の結果を班の中で共有する／or 実験⓮
	11月27日（水）	課題研究の中間報告会を各クラスで実施する　※公開授業
	12月 ４日（水）	結果の考察および軌道修正（その１）／or 追加実験⓯
	12月11日（水）	結果の考察および軌道修正（その２）／or 追加実験⑯
	12月18日（水）	考察によって分かったこと＝結論を出す

◇本時の流れ（実験をした班は書けるところを書く。実験内容などをステップ４に記録する）

ステップ１・リサーチクエスチョンの確認をする

▼

ステップ２・前回の９月２５日のワークシートに基づいて、仮説＆その根拠を一つにしぼる

▼

ステップ３・先生に見せ、コメントをもらう

▼

ステップ４・本時の振り返り

◇本時の内容

ステップ１・リサーチクエスチョンの再確認

私たち＿＿＿班の「リサーチクエスチョン」（明らかにしたい問い）は、

【チェックリスト】

☐ すぐに答えが出てしまわないか？　☐ 現状を調べるだけで終わってしまわないか？

☐ 見通しが立ち、実行可能か？　☐ 検証には何が必要か？　それは準備可能か？　など

※文言などに修正がある場合は、赤字で訂正せよ。大幅な変更がある場合は、担当者に相談すること。

ステップ２・前回の９月２５日のワークシートに基づいて、仮説＆その根拠を、一つにしぼる

【仮説】私たち＿＿＿＿班は、「リサーチクエスチョン」の仮説（「答え」の予想）を次のように設定する。

※前回のワークシートに基づいて仮説を一つにしぼる

【根拠】

※仮説を立てる際は、それが検証可能かどうか確認しよう。このステップでは、客観的な根拠を示した上で主張を組み立てる力（論理的思考力）と、与えられた情報を鵜呑みにするのではなく、自ら論理的に考え、答えを導く力（クリティカルシンキング＝批判的思考力）が必要になる。自分たちのアイデアを客観的に分析し、説得力のある仮説および根拠を示そう。

ステップ３・先生に見せ、コメントをもらう

～メモ～

担当者１	担当者２

ステップ４・本時を振り返って考えたこと、今後の見通しなど

※実験をした班は、実験内容などを書く（詳細は別冊の研究ノートに記録せよ！）

２年　組　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

江風ＳＳＧ課題プリント７（10月23日水曜日提出）

《宿題》

仮説の客観的な根拠を考え、調査・研究の計画を考えてこよう

私たち＿＿＿＿班の「リサーチクエスチョン」（明らかにしたい問い）は、

▼

【仮説】私たち＿＿＿＿班は、「リサーチクエスチョン」の仮説（「答え」の予想）を次のように設定する。

【根拠】

※今までのワークシートから転記する

担当者１	担当者２

仮説を証明するために、調査・研究の計画を立てる！

仮説の真偽を確かめるための研究手法は、文献調査、アンケート調査、インタビュー調査、実験、参与観察（※特定の組織やグループにその一員として参加してデータを収集する手法）などがある。

どの班も文献調査は必要である。文献調査とは、論文や報告書、書籍や手紙など、これまでに書かれた文書・記録を用いて、リサーチクエスチョンの答えにアプローチする手法である。インターネットや図書館を活用するのがよい。

下記の計画表は、文献調査をする場合のものである。下記の計画表に基づいて、どのような資料が必要なのか、また、その資料を誰がいつどのように調べるのか、各班で計画を立てよう。

少なくとも、１人が１つ以上調べるように、分担すること。

【文献調査の計画表】

必要な資料	誰が	いつ	どのように

【他の研究手法の計画表】（インタビュー調査、アンケート調査、実験など）

必要な調査	誰が	いつ	どのように